

〈2019年度法学会記事〉

○講演会等

- ・「性の多様性理解とセクシャル・マイノリティの権利」

講師 安間優希（NPO法人 PROUD LIFE 代表理事、名古屋市立大学非常勤講師）

日時 2019年11月11日（月）14：45～16：15

場所 愛知大学名古屋キャンパス L1102教室

- ・「法学部生の学修戦略—学びの気づき、ヒント、実践—」

講師 加藤新太郎（中央大学法科大学院教授、弁護士、元東京高等裁判所判事（部総括））

日時 2019年11月15日（金）14：45～16：15

場所 愛知大学名古屋キャンパス L1005教室

○法学会賞・努力賞（優秀な卒業論文に対して授与）

- ・法学会賞 2名

濱田大二郎 「「性同一性障害」における戸籍変更する際の生殖不能要件の是非—最二小決平成31年1月23日からの検討—」

（指導教員：小林真紀）

亀山 諒 「日本の安全保障上における集団的自衛権とサイバーセキュリティ戦略」

（指導教員：三宅裕一郎）

- ・努力賞 3名

柴田尚哉 「監督義務者責任の再検討—責任無能力者の損害の帰責を誰に求めるべきか—」

（指導教員：石口 修）

堀場 匠 「労働基準法（罰則規定）への課徴金制度導入の可能性とその展望—過労死・過労自殺を発生させた企業に対する制裁—」

（指導教員：金井幸子）

牧原千尋 「無償行為否認の要件緩和の問題点—最判昭和62年と最判平成29年の批判的考察を中心にして—」

（指導教員：吉垣 実）